

子宮動脈塞栓術とは？

子宮動脈塞栓術（UAE）とは、子宮筋腫を栄養している子宮動脈を塞栓物質で塞栓（詰める）し、子宮筋腫を小さくする方法です。

1.子宮動脈塞栓術の目的・メリット

子宮筋腫に伴う片月経、月経困難、圧迫症状などの改善が目的となります。また、手術を希望されない患者さんが対象となりますが、担当医とよく相談の上、どの治療が一番良いかを決定します。

短期間の入院で社会復帰も早く、筋腫の部位・数・大きさに関係なく一度にすべての筋腫に施行可能。

2.子宮動脈塞栓術の適応外（対象とならない可能性のある方）

1) 妊娠中もしくは妊娠の可能性がある場合

原則的に将来の挙児希望（妊娠の希望）がある場合には行っておりませんが、子宮動脈塞栓術後の妊娠・出産の報告もあります。

2) 閉経後

3) 子宮・卵巣の悪性腫瘍が疑われる場合。

4) 骨盤内に感染症がある場合。

5) 造影剤に対してアレルギーがある場合。

などです。

詳しくは、日本インターベンショナルラジオロジー学会（日本 IVR 学会）のホームページにあります、「市民の皆様へ」をご参照下さい。

http://www.jsir.or.jp/docs/kouhoukara/PR_PDF/Q&A/7.pdf